

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第26回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成26年6月25日(水) 午後3時00分～5時30分	場所	木津川市役所4階 会議室4-3・4-4
出席者 <input checked="" type="checkbox"/> 出席者 <input type="checkbox"/> 欠席者	委員	【学識経験者】 <input checked="" type="checkbox"/> 中川大委員(副会長) <input checked="" type="checkbox"/> 大庭哲治委員 【市民代表】 <input checked="" type="checkbox"/> 坂本佳津子委員 <input type="checkbox"/> 関和香子委員 <input checked="" type="checkbox"/> 大村裕信委員 <input checked="" type="checkbox"/> 神野勝三郎委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鶴岡由雄委員 <input checked="" type="checkbox"/> 坂本利正委員 <input checked="" type="checkbox"/> 久保恭子委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山守和良委員 【事業者】 <input checked="" type="checkbox"/> 寺嶋勤委員※代理:徳永孝之(西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社総務企画課主査) <input checked="" type="checkbox"/> 森本耕司委員※代理:西川裕子(近畿日本鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部営業企画部) <input checked="" type="checkbox"/> 川邊経恭委員※代理:橋本倫尚(奈良交通株式会社乗合事業部課長) <input type="checkbox"/> 津田秀夫委員 <input type="checkbox"/> 近藤智彦委員 <input checked="" type="checkbox"/> 筒井基好委員※代理:伊藤由夫(城南タクシー株式会社取締役) <input type="checkbox"/> 梅田幹夫委員 <input type="checkbox"/> 加藤隆委員 <input checked="" type="checkbox"/> 大西秀樹委員 【行政機関】 <input type="checkbox"/> 川合宏和委員 <input checked="" type="checkbox"/> 石橋博孝委員※代理:玉木秀幸(国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所調査課専門調査員) <input type="checkbox"/> 湯瀬敏之委員 <input checked="" type="checkbox"/> 関西浩二委員 <input checked="" type="checkbox"/> 巽英人委員※代理:川田貢(京都府木津警察署交通課交通総務係長) <input type="checkbox"/> 河井規子委員(会長) <input type="checkbox"/> 田中達男委員 <input checked="" type="checkbox"/> 若狭朝明委員	
	その他	【オブザーバー】 <input checked="" type="checkbox"/> 加納陽之助※代理:小篠祥幸(近畿運輸局企画観光部交通企画課係長)	
事務局	尾崎公室長、茅早係長、富井主任、藤本主事		
傍聴者	0名		
議題	1. 開会 2. 議事 (1) 協議事項 ①平成25年度決算報告について【資料1】 ②平成26年度補正予算第1号(案)について【資料2】 ③地域公共交通確保維持改善事業 生活交通ネットワーク計画(案)について【資料3】		

	<p>④木津川市コミュニティバスの愛称について【資料4】</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①公募型プロポーザル方式による運行事業者の選定結果について【資料5】</p> <p>②木津川市の公共交通に係る総合的な計画の策定について【資料6】</p> <p>③木津川市コミュニティバスの利用状況及び収支状況について【資料7】</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の開催日程について</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会</p> <p>事務局より開会を宣言した。</p> <p>2. 議事</p> <p>議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として大西委員を指名した。</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>①平成25年度決算報告について</p> <p>「資料1 平成25年度歳入歳出決算について」に基づき、事務局から説明があり、承認した。</p> <p>②平成26年度補正予算第1号(案)について</p> <p>「資料2 平成26年度補正予算第1号(案)について」に基づき、事務局から説明があり、承認した。</p> <p>③地域公共交通確保維持改善事業 生活交通ネットワーク計画(案)について</p> <p>「資料3 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業 生活交通ネットワーク計画について(概要)」及び「資料3 追加資料 生活交通ネットワーク計画(地域間幹線系統確保維持計画)」に基づき、事務局から説明があり、承認した。</p> <p>④木津川市コミュニティバスの愛称について</p> <p>「資料4 木津川市コミュニティバスの愛称募集結果及び選考について」に基づき、事務局から説明があり、選考の結果、加茂地域のコミュニティバスを「かもバス」、山城地域のコミュニティバスを「やましろバス」に決定した。</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①公募型プロポーザル方式による運行事業者の選定結果について</p> <p>「資料5 公募型プロポーザル方式による運行事業者の選定結果について」に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p>

	<p>②木津川市の公共交通に係る総合的な計画の策定について 「資料6 木津川市の公共交通に係る総合的な計画の策定について」に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>③木津川市コミュニティバスの利用状況及び収支状況について 「資料7 木津川市コミュニティバス運行経費・利用者数集計表」に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の日程について 事務局が調整をおこない、後日委員へ連絡することとした。</p> <p>3. 閉会</p>
<p style="text-align: center;">会議経過要旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>① 平成25年度決算報告について 【配布資料】資料1 平成25年度歳入歳出決算について 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答) ○ 9頁に記載されている、調査計画費の中にある利用促進業務委託について、予算に対する決算額の割合が少ないのは、なぜか。 ● 利用促進業務委託については当初の計画にあったものではなく、国庫補助金79万1千円が収入として見込まれたために、利用促進業務委託として予算を計上し、看板新調等を実施したものである。</p> <p>② 平成26年度補正予算第1号(案)について 【配布資料】資料2 平成26年度補正予算第1号(案)について 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答) 会議結果要旨のとおり。</p> <p>③ 地域公共交通確保維持改善事業 生活交通ネットワーク計画(案)について 【配布資料】資料3 地域公共交通確保維持改善事業 生活交通ネットワーク計画(案)について 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答) ○ きのつバスを幹線系統として捉えるとなると、高の原駅から木津駅への通勤時間帯の便が少なく感じる。通勤時間帯の増便等は検討されていないか。 ● コミュニティバスは「昼間に、病院、市役所及び公共施設等へ行くための交通手段」として運行しており、通勤・通学に係る交通手段は、民間事業者により担うべき役割と考えている。 ○ 役割の認識は理解できるが、例えば病院に9時に行く必要がある場合、利</p>

用できる便がなく、高の原駅周辺の住民は困っている。

●今年度策定する「公共交通に係る総合的な計画」において、利用者及び住民の要望や意識について、アンケート調査を実施する。調査結果を整理したうえで、必要性を検討する。

○利用者の目線からすれば、路線バスであってもコミュニティバスであっても同じバスとして利用するものであり、利用促進に関する広報は、分かりやすくすることが重要である。工夫をお願いしたい。

○幹線系統について、国庫補助制度を活用し、計画策定することは理解するが、計画を策定したからといって、利用者が自然に増加することは考えにくい。今後、柔軟な考えをもって、利用促進の取組みを実施してほしい。

●利用促進については、細やかな視点で取り組んでいかねばならない。昨年からの実施する協働推進事業の中で、乗車体験授業実施小学校数を増やすことや、1日フリー乗車券の販売所数を増やしたい。またこれら以外にもできることから進めることとしている。

○きのつバス全体の利用者数にCI-CAの利用者数は含まれているのか。

●CI-CAの利用者数も含まれている。

④ 木津川市コミュニティバスの愛称について

【配布資料】資料4 木津川市コミュニティバスの愛称募集結果及び選考について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

○事務局案について、商標登録されているか確認されたのか。

●商標は確認していない。決定され次第、確認をする。なお、他自治体で使用されていないことは確認している。

<選考方法について>

挙手にて選考を行うこととした。

<愛称について>

選考の結果、次のように決定した。

・加茂地域：「かもバス」

(「かもバス」11票、「かもんバス」7票)

・山城地域：「やましろバス」

(「やましろバス」11票、「やまっちゃバス」7票)

○決定された愛称が地域に浸透して、利用者が増えることを期待したい。

(2) 報告事項

① 公募型プロポーザル方式による運行事業者の選定結果について

【配布資料】資料5 公募型プロポーザル方式による運行事業者の選定結果について

【主な意見・質疑等】(◎…議長、○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

◎ 平成26年10月以降の運行候補者を決定した。事業者の皆様には、引き続き安全・確実な運行をお願いしたい。また、応募いただいた全ての事業者に感謝を申し上げたい。公平性・透明性が確保された形で選定されたことは非常に良かったと考えられる。

② 木津川市の公共交通に係る総合的な計画の策定について

【配布資料】資料6 木津川市の公共交通に係る総合的な計画の策定について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

○ 住民及び利用者アンケートを合計すると対象者数が計3,700人となる。これは人口の5%を超えており、過大に感じるが、どのような基準で数を設定しているのか。

また、ワークショップは、もっと開催数を増やした方が地域の実態が掴めて良いのではないか。

● 対象者数については、平成21年に現計画を策定した時の数を踏襲している。過大ではないかとのご意見であるが、40%程度の回収率を考慮すると、適当であると考えている。

ワークショップについては、3回程度の開催を予定しており、主として加茂地域での実施を予定している。平成25年10月の乗り合いタクシーへの移行・利用者の減少を受けて、利用しなくなった要因を詳しく調査し、計画策定に反映させる。開催数については、検討する。

○ 道路交通網のインフラ整備との兼ね合いも公共交通の活性化には欠かせない。関係部署に対する取組みを計画内で促していく等の観点を入れて頂くと、良い計画になってくるのではと思う。幅広く考える必要がある。

● 関係部署と調整しながら進める。

○ 公共交通に係る総合的な計画ということなので、コミュニティバスだけではなく、鉄道や民間バスも含めて策定するという理解でよいか。

● 鉄道や民間バスも含めた総合的な計画と考えている。

○ バス利用者アンケートについては、対象者をコミュニティバス利用者限定している印象を受ける。

● バス利用者アンケートについては、コミュニティバス利用者限定とさせて頂いた。しかし、住民アンケートや施設の利用者アンケートについては、コミュニティバス利用者以外の幅広い層の方々も回答も見込んでおり、結果を総合的に分析し、検討する。

③ 木津川市コミュニティバスの利用状況及び収支状況について

【配布資料】資料7 木津川市コミュニティバス運行経費・利用者数集計表

【主な意見・質疑等】(◎…議長、○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

○ 資料の2頁にあるように、きのつバスの利用者が減少しているが、人口は増加していると考えられる中で利用が減少している理由がわかればお教え頂

きたい。

●平成22年3月の運賃改定の影響を受けて7割程度に減少したと考えている。その後、中学校の区域変更により、中学生の利用が無くなった路線が生じたことや、また、全国的にある公共交通離れの影響についても考えている。

○理由がわからない点も多いと思うが、輸送人員が増加しない限り、持続可能な公共交通は実現しない。理由についても分析できるようなアンケートの検討をお願いする。

◎運賃改定以後、時間が経過しているにも関わらず利用者は減少し続けており、増加に結びつけるよう努力していかなくてはならない。また「全国的な公共交通離れ」については明確に否定しておきたい。5年も6年も利用者が減り続けているのは問題である。山城線では、利用者が増加しており、素晴らしいが、それ以外の路線は減少しすぎであると感じる。また、6月に3月の利用データで議論していることが問題である。

加えて、利用状況を報告事項の最後に議論をせず、利用状況が一番重要な要素であることから、議事の順番を再考されたい。

○資料3追加資料で、前々年度の利用者数24万2,500人という数値が記載されており、これはきのつバスの利用者として理解しているが、先ほどの生活交通ネットワーク計画に記載されている利用者数には、この数値が確認できない。

●生活交通ネットワーク計画の事業年度は、9月から10月であるが、利用者数集計表の年度は4月から3月で記載しているためである。

○バス停に掲示されている広報資料について、「10月1日から予約型となる」ということが掲示されているが、年の表記がなく分かりにくい。平成27年度からと理解されている方もおられる。地域住民の中には、バスは利用しないため、自分には関係がないという声も上がっている。

●標柱の掲示は、昨年度おこなった。10月1日以降も周知の為にそのまま掲示しているが、修正・補強をおこなう。

○変更後半年以上も経過して、今まで市民の方から指摘が無かったということは、そもそも利用されていない、見て頂いていない、そして注目されていないということ。もっと注目度を高めなくてはいけない。少なくとも正しい表記をしなくてはならない。

(3) その他

① 次回協議会の日程について
後日文書で通知する。

3. 閉 会

以上

その他 特記事項	
-------------	--